

# うまく動かないとき

洗浄が正しく行われなときは、まずこのページの処置方法を試してください。それでも直らないときは、もう一度「施工の流れ」(P.2)を最初から確認してください。

こんなときは	ご確認ください	処置方法
作動しない	 の場合 ●便器洗浄リモコンとウォシュレットとの組み合わせ設定を行っていますか？ ●オートクリーンCのプラグが、ウォシュレットの接続口に根元まで確実に差し込まれていますか？ ●ウォシュレット本体の電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	便器洗浄リモコンとウォシュレットとの組み合わせ設定を行う →便器洗浄リモコン取付説明書をご確認ください。
	 の場合 ●リモコンに電池は入っていますか？	プラグを根元まで確実に押し込み、キャップを取り付ける ウォシュレット本体の電源プラグをコンセントに差し込む リモコンに電池を正しく入れる
流れない	●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす
大洗浄しかない	●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす
小洗浄しかない	●モード設定がまちがっていませんか？	モードを正しく設定しなおす

# TOTO

施工業者様向け

## 便器洗浄ユニット施工説明書

ウォシュレット専用（フラッシュバルブ式腰掛便器用）

### 重要

施工タイプ **3** 種類から必ず 1 つ選択してください。

- 「施工の流れ」(2 ページ) を必ずご確認ください。  
※記載されていない便器には取り付けできません。  
※対応していない便器洗浄ユニットを取り付けると故障の原因となります。  
※施工タイプによって、便器洗浄モードの設定方法が異なります。

機種によって、便器洗浄ユニットのプラグ接続口の位置が異なります。

- 施工手順 2: 「ウォシュレットとオートクリーンCを配線・接続する」を必ずご確認ください。

便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。

- 施工手順 3: 「便器洗浄モードを設定する」を必ずご確認ください。
- 出荷時の設定のままでは洗浄できません。



ウォシュレットとの  
組み合わせ設定が必要です。

※組み合わせ設定については、便器洗浄リモコン取付説明書をご確認ください。

- 設定しないと便器洗浄できません。

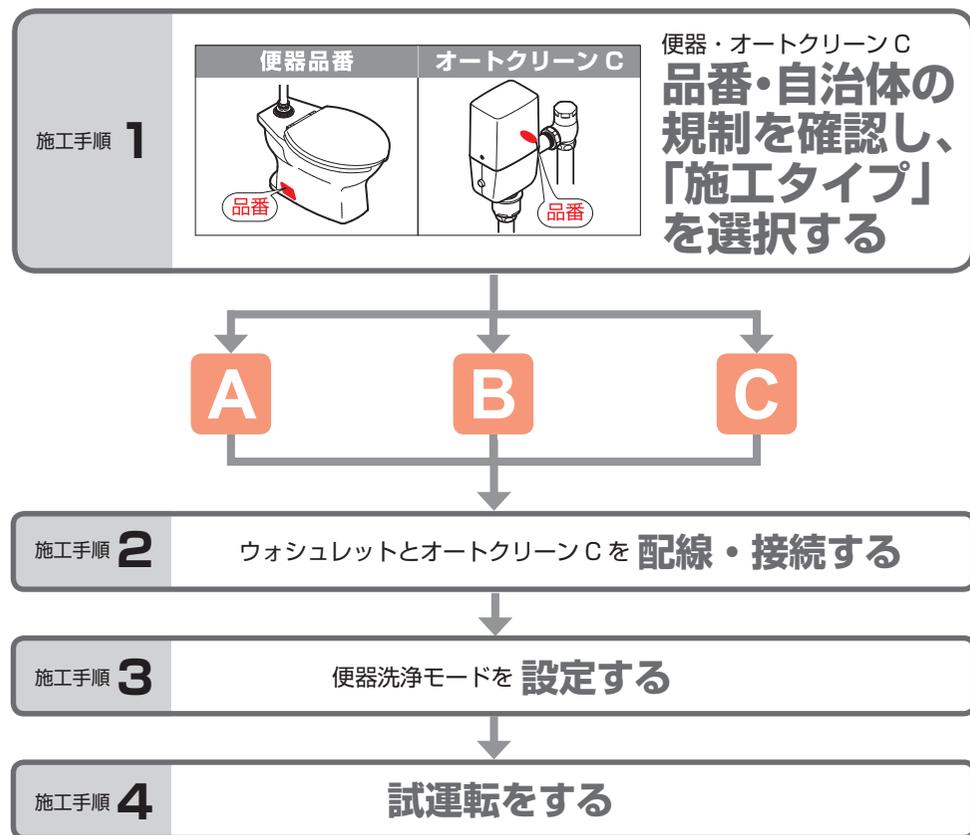
TOTO 株式会社

TOTO ホームページ <https://jp.toto.com>

2020.11.11  
D07289S

# 施工の流れ

便器とバルブの調節ねじによって、施工タイプが3種類に分かれます。  
施工タイプに合わせて、正しく施工してください。



## 施工手順 1 「施工タイプ」を選択する

便器品番	CS464M系 CS465系	C550NU	C14 C21N C426 C480A C550DRU C743PVR	C21R C454PVR C48 C48AS CU714V	CS140系 C480AN C480N C480S C550SU C743PVN	
	オートクリーンC品番	TEF10CE系 TEF10SE系 TEF20CE系 TEF20SE系				
洗浄水量	大洗浄	5.5L (7.5L)	6L	10L	13L	8L
	小洗浄	4.5L (5.5L)	5L	7L	10L	6L
バルブ調節ねじ位置変更要否		不要	要	不要	要	要

A

B

C

## 施工手順 2 ウォシュレットとオートクリーンCを配線・接続する

### プラグを接続する

**1** ウォシュレット本体を施工する  
(ウォシュレット本体の施工説明書参照)

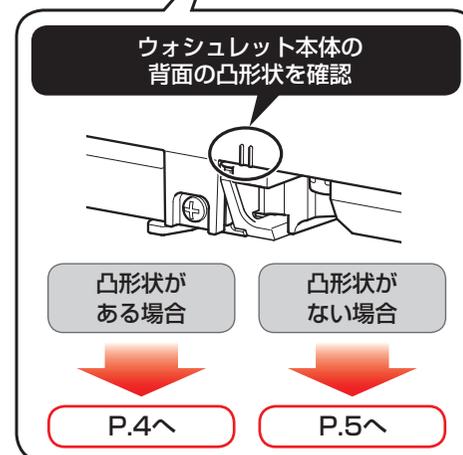
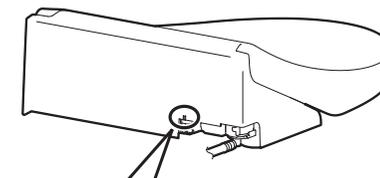
**重要** 手順 2 以降は、ウォシュレット本体施工後に行ってください。

**2** 便器洗浄リモコンを取り付ける  
(便器洗浄リモコン取付説明書参照)

**重要** ウォシュレットとの「組み合わせ設定」が必要な便器洗浄リモコンの場合は、必ず設定してください。(設定しないとリモコンで便器洗浄できません。)

**3** プラグ(オートクリーンC)を接続する  
コードは、ウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。  
(機種によって、製品の形状が異なります。)

プラグ接続口を確認してください。  
(機種によって、接続方法が異なります。)

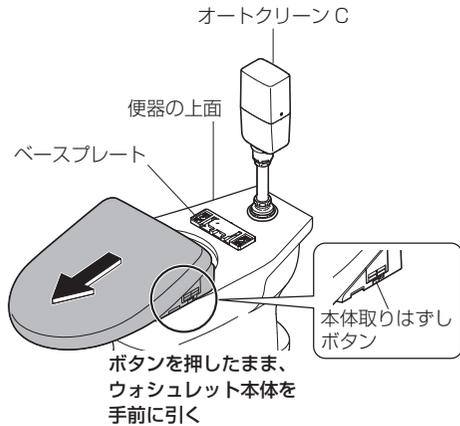


# 施工手順 2 ウォシュレットとオートクリーンCを配線・接続する

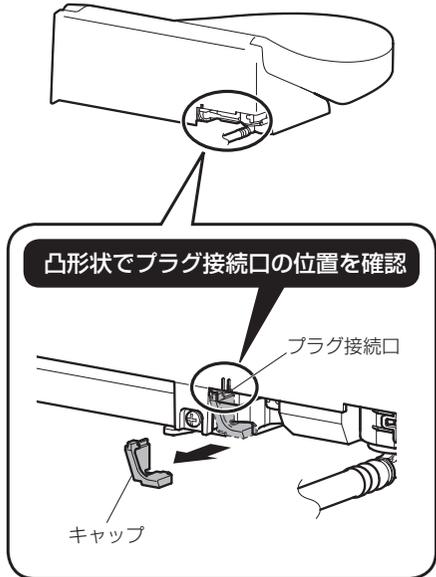
## プラグを接続する

### ウォシュレット本体の背面に凸形状がある場合

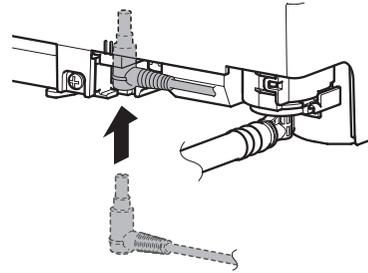
① ①ドライバーなどでボタンを押したまま  
ウォシュレット本体を手前に引く



② ウォシュレット本体の背面にある  
キャップを取りはずす

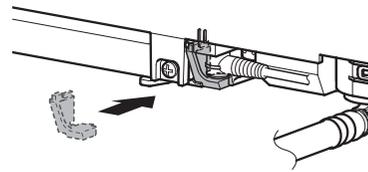


③ プラグを根元まで確実に差し込む



オートクリーンCの背面からコードが出ていない場合  
信号線の取り付けが必要です。  
オートクリーンCへの取付方法は、オートクリーンCの  
施工説明書をご確認ください。

④ キャップを取り付ける



⑤ ウォシュレット本体を取り付ける

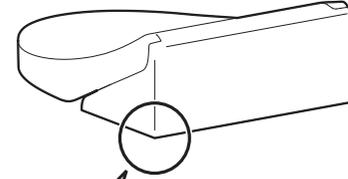
※手前に引っ張って製品がはずれないことを  
確認してください。

**4** ウォシュレットの電源プラグを  
コンセントに差し込む

必ず便器洗浄モードを設定してください  
機種によって、設定方法が異なります。

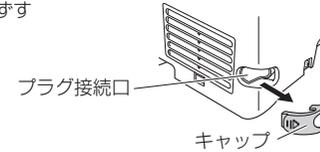


### ウォシュレット本体の背面に凸形状がない場合

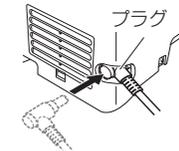


オートクリーンCの背面からコードが出ていない場合  
信号線の取り付けが必要です。  
オートクリーンCへの取付方法は、オートクリーンCの  
施工説明書をご確認ください。

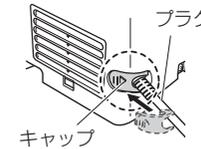
① キャップを取りはずす



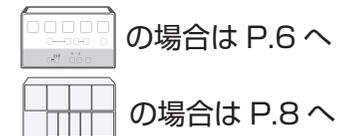
② プラグを横向きに  
根元まで確実に差し込む



③ キャップを取り付ける



必ず便器洗浄モードを設定してください  
機種によって、設定方法が異なります。



# 施工手順 3 便器洗浄モードを設定する



の場合

## で注意

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。  
(ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

### 1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

→ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

### 2 止 と ビデ 10秒以上押す

→リモコンのランプが全点滅します。

施工タイプ

**A**

### 3 設定モード 5秒以上押す

設定モード 入切

※便器品番がCS464M系・CS465系で水量が少ないときは、[大洗浄7.5L、小洗浄5.5L]に変更することができます。もう一度手順③を行い、電子音が3回鳴る設定にしてください。



施工タイプ

**B**

### 3 水勢 5秒以上押す

水勢 入切



施工タイプ

**C**

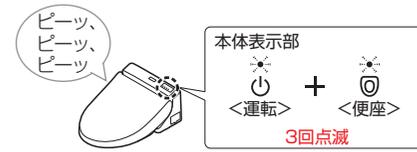
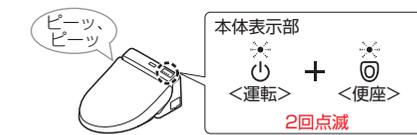
### 3 水勢 5秒以上押す

水勢 入切

もう一度

水勢 入切

5秒以上押す



施工全タイプ共通

設定位置を確認する

### 4 ノズルそうじ 5秒以上押す → (電子音が鳴ると同時に本体表示部ランプが点滅することを確認する (電子音: A・Bは2回、C・A [大洗浄7.5L]は3回) (本体表示部ランプ: Aは「便座」と「節電」、B・Cは「運転」と「便座」))

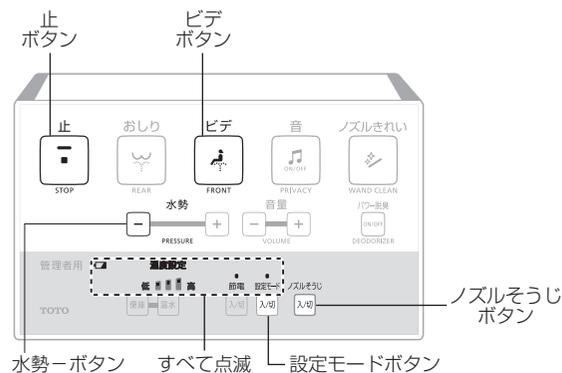
電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。手順③に戻り、設定しなおしてください。

手順③をくり返すたびにモードが切り替わる



### 5 止 押す → <設定完了>

止 入切



水勢ボタン すべて点滅 設定モードボタン

機種によっては、本体表示部やボタンのレイアウトなどが異なります。

試運転をする P.10へ

# 施工手順 3 便器洗浄モードを設定する

の場合

**で注意**  
 モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。  
 (ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

## 1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

→ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

## 2 ビデ FRONT 5回押す

→「ピッ」という電子音が鳴り、<設定モード>※に入ります。

<設定モード>中は、20秒以内に次のボタンを押してください。



機種によって設定に使うボタンが異なります。

設定完了できなかった場合は、手順②からやり直してください。設定を途中でやめるときは、「止」ボタンを押してください。

※電子音が鳴らなかった場合は、リモコンとウォシュレット本体の組み合わせ設定がされていない可能性があります。ウォシュレット本体の施工説明書を見て、組み合わせ設定を行ってください。

機種によっては、本体表示部やボタンのレイアウトなどが異なります。

<b>施工タイプ A</b>	<b>3</b> おしり REAR → 水勢 PRESURE → おしり REAR の順に押す ※便器品番がCS464M系・CS465系で水量が少ないときは、[大洗浄7.5L、小洗浄5.5L]に変更することができます。もう一度手順②③を行い、電子音が3回鳴る設定にしてください。	ピーツ、ピーツ 本体表示部 <便座> + <節電> 2回点滅
<b>施工タイプ B</b>	<b>3</b> おしり REAR → ビデ FRONT → の順に押す (音ありの場合 音量、乾燥ありの場合 位置)	ピーツ、ピーツ 本体表示部 <運転> + <便座> 2回点滅
<b>施工タイプ C</b>	<b>3</b> おしり REAR → ビデ FRONT → の順に押す もう一度 ビデ FRONT 5回押す → 「ピッ」という電子音が鳴ります。 おしり REAR → ビデ FRONT → の順に押す (音ありの場合 音量、乾燥ありの場合 位置)	ピーツ、ピーツ 本体表示部 <運転> + <便座> 2回点滅 ピーツ、ピーツ、ピーツ 本体表示部 <運転> + <便座> 3回点滅

**施工全タイプ共通**

**4** ビデ FRONT 5回押す → 「ピッ」という電子音が鳴ります。

**5** 水勢 PRESURE → ビデ FRONT → おしり REAR の順に押す →

電子音が鳴ると同時に本体表示部ランプが点滅することを確認する  
 (電子音: A・Bは2回、C・A[大洗浄7.5L]は3回)  
 (本体表示部ランプ: Aは「便座」と「節電」、B・Cは「運転」と「便座」)

電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。手順②③に戻り、設定しなおしてください。

手順②③をくり返すたびにモードが切り替わる

```

    graph LR
    A["「ピーツ」  
本体表示部が全ランプ1回点滅"] --> B["「ピーツ、ピーツ」  
表示部が2回点滅  
A、Bの場合  
このモードに設定する"]
    B --> C["「ピーツ、ピーツ、ピーツ」  
表示部が3回点滅  
C、A [大洗浄7.5L]の場合  
このモードに設定する"]
    C --> D["「ピーツ、ピーツ、ピーツ、ピーツ」  
表示部が4回点滅  
使用しません"]
    
```

試運転をする P.10へ

# 施工手順 4 試運転をする

## 施工全タイプ共通

ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込んだ後、次の項目を確認し、□にチェックを行ってください。



- 1 オートクリーン C の止水栓を開ける  
止水栓の開閉方法は、オートクリーン C の施工説明書をご覧ください。

チェック



- 2 リモコンで便器洗浄を確認する  
「大」「小」ボタンを押して、便器洗浄を行うことを確認する  
※連続して押すと作動しません。約 10 秒たってから、もう一度ボタンを押してください。  
便器洗浄が正しく行われないときは「うまく動かないとき」(裏表紙)をご覧ください。

試運転が終わりましたら、各施工説明書に従って作業を行ってください。

- オートクリーン C → 施工と試運転
- ウォシュレット本体 → 試運転

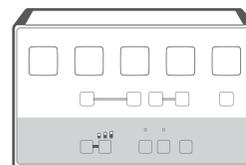
# 設備保護洗浄

24 時間以上便器洗浄されなかったときに、配管を保護するため自動で便器洗浄します。

お客様にご確認の上、不要な場合は「しない」に設定してください。

## 設備保護洗浄する / しない

はじめの設定「する」



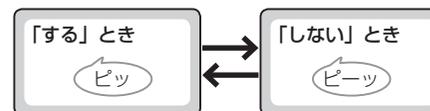
の場合

- 1 止 約 10 秒以上押す  
→リモコンのランプが全点滅します。

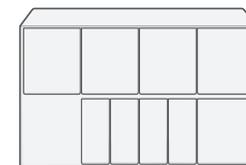
- 2 ノズルそうじ 設定モード 入/切 と 入/切 を同時に押す

押すたびに切り替わる

設備保護洗浄を



- 3 止 押す <設定完了>



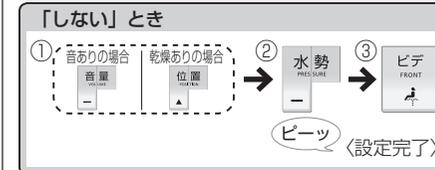
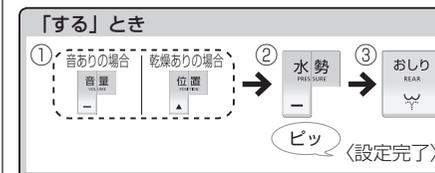
の場合

ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。

- 1 止 5 回押す  
→「ビッ」という電子音が鳴り、<設定モード>に入ります。  
<設定モード>中は、20 秒以内に次のボタンを押してください。

- 2 設定したい項目を選び、①②③の順に押す

設備保護洗浄を



設定完了できなかった場合は、もう一度手順①からやり直してください。設定を途中でやめるときは、「止」ボタンを押してください。